

## 平成 19 年度第 3 回丸子地域協議会会議次第

平成 19 年 6 月 27 日(水) 13:30 ~  
丸子地域自治センター 3 階第 2 会議室

1 開 会

2 あいさつ

3 会議事項

( 1 ) 会議の進め方について

丸子地域で検討すべき内容に関するアンケート調査について

事前配付資料

今後の協議内容について

( 2 ) その他

自治センターだよりについて

4 報告事項

( 1 ) 行財政改革大綱について

( 2 ) 陽寿荘・徳寿荘の移転について

( 3 ) 上田市廃棄物処理審議会の答申について

( 4 ) 丸子地域自治センターの重点目標について

( 5 ) 都市計画マスタープランまちづくりアンケート結果

5 その他

6 閉 会

# 丸子地域協議会で検討すべき内容に関するアンケート 集計

平成19年度第3回丸子地域協議会資料  
平成19年6月27日

丸子地域まちづくり方針	優先順位	優先して検討すべき具体的内容	
		項目	理由(補足すべき理由)
軽快な交通ネットワークの整備 (1位を選んだ・・・5人 2位・・・3人 4位・・・2人 6位・・・1人 7位・・・3人 8位・・・2人 9位・・・1人 10位・・・1人)	1	地域全体のインフラ整備 (国道152.254号)(生活道路)	
	1	地域内の国道の美化 協働	道路、歩道等の除草、道路凸凹の整備
	1	国道254号バイパス実現。 平井寺及び三才山トンネルの早期無料化実現	
	1	生活道路の安全な歩道・自転車道の確保	車イス移動考慮、対環境対策。移動しやすい 活性化
	1	バイパス	国道254号線のバイパス道路が必要。生活道路が奪われている。
	2	地域内の市道等の美化 協働	道路、歩道等の除草、花・街路樹
	2	県道の整備を国・県に働きかける	
	2	主要道路の整備	歩道の整備改良が必要。(段差解消、歩道拡幅)
	4	お年寄りが一人で病院、買い物に行けるような交通システム作り	
	4	騒音・渋滞の緩和、高速道路へのアクセス、災害時の時の迂回路の確保	交通の便の良さは、企業誘致の際の大きなメリットになると思う。不便な場所へ細い道等、車の渋滞の時の救急車・消防など一刻も早く現地に行かれるように。
	6	国道254号の代替路線整備・安全性確保	
	7	平井寺トンネル無料化	あまりにも通行料が高すぎる。
	7		長いスパンと莫大な経費が必要
	7	平井寺トンネルの早期無料化	国道の整備は、市議員、県議員にお任せして成果を期待する。
	8	国道254号線のバイパス建設	調査費用予算がついていると聞いています。住民の希望を反映させていく必要あり。
8	幹線道路の整備	騒音・渋滞の解消と迂回路	
9	道路整備と平行した景観の整備		
10	国道254号の渋滞・住環境対策		

丸子地域まちづくり方針	優先順位	優先して検討すべき具体的内容	
		項目	理由(補足すべき理由)
健康×観光×自然=交流 人口の拡大  1位を選んだ・1人 2位・・・6人 3位・・・3人 4位・・・3人 5位・・・2人 7位・・・1人 9位・・・1人 10位・・・1人 11位・・・1人	1	人口の拡大をどうしていくか	(交流人口というよりも人口拡大) 過疎化が進む中、どうしても早く取り組む必要がある。
	2	住民全体の接遇意識の高揚、道路標識の完備	
	2	信州国際音楽村周辺公園	
	2	健康づくりの環境に恵まれている。	健康づくりのノウハウを丸子温泉郷で長年培ってきました。このノウハウを上田市民全体に周知させ実践活動が出来る仕組みを、再構築していく必要がある。
	2	観光資源と各施設等の有機的つながりによる交流人口拡大策	
	2	外国籍の方の雇用ケースが増えている	異文化間の相互理解
	2		
	3		
	3	国際理解	在留外国人と外国籍住民を含む地域住民との交流。また多文化共生のための国際理解が必要。
	3	国際交流	在留外国人との地域的交流が必要
	4	鹿教湯温泉郷の整備	総合的な環境整備の必要性
	4	信州国際音楽村の周辺整備、自然公園化	
	4	国際交流	台湾の学校の修学旅行が他県で一番多い。各高校で生徒の交流があり県内で40校だそうです。これは一つの例ですが、さて丸子では
	5	陣場山台地の観光資源化	
	5	イベントに参加	
	7	県内外との交流、観光地のアピール	姉妹市町村を考える
	9	一貫性のある景観の街並作り	歩きたい街並み
	10	人を集める魅力作り	マネではない魅力あるイベントの企画、対象層の考慮
11	イベント・コーディネート組織	各イベント間の調整・宣伝・総合的将来展望などを行う	

丸子地域まちづくり方針	優先順位	優先して検討すべき具体的内容	
		項目	理由(補足すべき理由)
新たな産業ブランドの創出 1位を選んだ・なし 3位・・・1人 4位・・・1人 5位・・・4人 6位・・・2人 7位・・・1人 9位・・・1人 12位・・・1人 13位・・・1人	2	荒廃した農地の復元	の未来型産業の振興と合わせて取り組む。将来(すぐ)農業と工業は地域発展に最も重要なポイントとなります。地域および地主との話し合いが必要です。
	2	依田窪の入口	他地区から丸子に来た時に商店街が活気が有る無いで、その街全体が見える。
	3	地域内商店街へのゆとりある空間の創出、顧客ニーズに合わせた商業経営	加工用ブドウ畑の造成とあわせて、商店街でブドウ、ワインをテーマとした空間づくりや勉強会、料理の開発、陣場台地回遊交通網の模索、丸子温泉郷との連携など近々発売予定である「マリコ」ブランドを高めるための仕掛けなどを検討する必要がある。
	4	陣場台地の周辺整備	
	5		
	5		
	5	農・観・商の融合	
	5	陣場台地の周辺整備	ブドウ関連産業の導入や観光への展開を図る必要がある。
	6	ワイナリーの誘致	誘致推進チームによる活動と、進出企業へのインセンティブ提案
	6	企業との交流提案	
	7	情報力の集積方法と将来性への判断力	
	9	商店街の魅力づくり	
	12	既存の希少性のある事象・場所のよりグレード・アップした観光化	爆水Run・温泉・ホール・陣場台地など、関連グッズ
	13	新ブランド創出への徹底的リサーチ・プロジェクトチーム作り	

丸子地域まちづくり方針	優先順位	優先して検討すべき具体的内容	
		項目	理由(補足すべき理由)
生涯学習活動拠点の充実 と新図書館の整備  1位を選んだ・・・1人 2位・・・1人 3位・・・3人 5位・・・2人 6位・・・3人 7位・・・1人 10位・・・1人 14位・・・1人	1	新図書館の建設	生涯学習の拠点の場として必要である。
	2	新図書館の整備	新図書館は市民の学び、交流の場として、生涯学習センター的機能をもつことが必要。
	3	新図書館の建設	
	3	生涯学習拠点の充実	各学校も生涯学習の場、地域の財産として活用すべきである。
	3	カネボウ跡地の有効に活かす為、車が集まる場所ではなく、人が集まる場所に	広い敷地を広く活かす、何もなくていい、芝生と噴水と遊歩道があるだけで良い。
	5	現状分析をして投資効果を考える	
	5	新図書館	今の図書館は内容がまったく違うそうだが、どこにも負けない図書館を。
	6		
	6		
	6		
	7	利便性に対応した上での生活学習活動の多様化(種類・時間・場所・交通)	
	10	カネボウ跡地の有効活用	
	14	まりん子号(等)の対応を考えた図書館整備	図書館ネットワークをより活用した上で

丸子地域まちづくり方針	優先順位	優先して検討すべき具体的内容	
		項目	理由(補足すべき理由)
可能性を秘めた雇用・居住・福祉の拠点整備 (1位を選んだ・・・なし 2位・・・3人 3位・・・2人 4位・・・7人 5位・・・1人 11位・・・2人)	2	誰でもが安心して出産、子育てができる環境、施設づくり	産院の充実、幼児と母親が子育ての情報交換ができるような場所
	2	旧カネボウ跡地の有効活用	
	2	バリアフリーの促進・充実	
	3	住宅地の便利、環境	
	3	永住の町	移住・永住したい町、田舎町
	4		
	4	個々の問題意識の把握	
	4	病院、治安	
	4		
	4	下水道完備の促進(未整備世帯の減少へ)	
	4		
	4	カネボウ跡地の再利用	大企業誘致による雇用の確保も大切だが、一般就労が困難な人達の雇用の場があれば。アパート、空き店舗の活用
	5	高齢者世帯への援助強化	降雪時、ごみ出し、不在者投票(特に休日)、投票、通院等
	11	カネボウ跡地の有効活用	
	11	住民意見の集積	

丸子地域まちづくり方針	優先順位	優先して検討すべき具体的内容	
		項目	理由(補足すべき理由)
未来型産業の振興と起業マインドの育成  1位を選んだ・・・1人 2位・・・2人 3位・・・2人 4位・・・1人 6位・・・2人 7位・・・2人 15位・・・1人	1	先端産業企業の誘致	誘致推進チームによる継続的な誘致活動
	2	企業ニーズ掘起しのため、工業会との打合せ	
	2	雇用増大の可能性のある企業の誘致	
	3		
	3	起業する企業への支援策	
	4	神の倉工業団地への新規優良企業の誘致	
	6	自己責任と熱意	
	6		
	7		
	7	産学官の連携	起業支援は重要
	15	(振興と起業のための)バック・アップ機構の確立と強化	アドバイスと援助(情報提供・資金調達等)

丸子地域まちづくり方針	優先順位	優先して検討すべき具体的内容	
		項目	理由(補足すべき理由)
自然環境の保全と人々が共生できる地域づくり  1位を選んだ・・・10人 2位・・・ 3人 3位・・・ 2人 4位・・・ 1人 5位・・・ 1人 6位・・・ 1人 8位・・・ 1人 12位・・・ 1人	1	依田川・内村川の環境整備	
	1	子どもたちを守り育てる環境づくり	
	1	休耕田の整備、再利用。山林とその周辺の畑の整備。	
	1	依田川・内村川のアレチウリ除去。森林・里山の整備	千曲川上流に住む人は環境保全に努める義務があると考えています。
	1	次世代を担う子ども達を安心して産み育てられる環境、地域ぐるみで子ども達を守り育てる環境づくり	
	1	次世代を担う子ども達を安心して産み、育てられる環境整備、守り育てる環境づくり	将来に向けての人材育成を重点施策として地域の共通のコンセンサスとすべきであると考えます。子どもがより良く成育する環境が整っている所に移り住む傾向があると聞いています。具体案を出し合い、検討する必要があります。
	1	一体感あるコミュニティづくり 市民協働	住民自治条例づくりへの参画も必要
	1	市民と協働による地域づくり	次世代を担う子ども達の育成を考えた地域のコミュニケーションづくりが必要。
	1	里山の再興。地域の自然を守る。	住民提案型事業で取り組む・・・というような本当に地域活性化を利用したものになり、住民皆で取り組む事ができるもの。
	1	のどかな町づくり	
	2		誰れもが住んでみたい、住んでよかったという地域にする必要がある。
	2	森林や里山の保全	
	2	内村川・依田川の環境整備、里山の整備	自然環境、景観保全が必要
	3	地域(自治会)の取組み	
	3	子育て支援の充実	青少年犯罪の凶悪化・増加を考慮した上でのハート・ケア
	4	地域ぐるみでの子育て	
5	幼稚園・保育園の充実、病院・学校等の地域ぐるみでの祭事、運動会等の協働		
6	安心できる出産施設	産院	
8	里山、里川 保全		
12	バイパス道路完成の後の環境整備	道路にそって樹木を植える。(周辺の土地のものパフォーマンスUP)	

丸子地域まちづくり方針	優先順位	優先して検討すべき具体的内容	
		項目	理由(補足すべき理由)

**進め方についての意見**

- ・別紙のとおり。
- ・優先順位は無理に設定してみたが、どれも優劣はつけがたい。
- ・今後の検討として、協議会委員を2グループに分けて、～ まで ～ までを中心に、キーワードを「丸子地域の交流人口の拡大」として、正副会長を夫々のグループの長として意見集約してはどうか。なぜ"交流人口の拡大"をキーワードとするかは、人口減少の中で自分達の地域に住む人たちにとって満足でき、他地域の方々に誇りをもって宣伝し集客することができるため。
- ・7項目の中で選択しましたが、市内地域分権を進め、まちづくりの活動拠点として市民を巻き込み実行可能な計画を立案施行するためには、地域自治センター長の権限(予算等)を強化することが必要ではないかと思う。この件について丸子地域協議会として議論し、市へ要望書を出すことも必要ではないかと思う。

平成19年5月22日

丸子地域協議会  
会長 片桐 久 様

丸子地域協議委員

検討すべき内容に関するアンケート調査について(意見)

5月17日に丸子地域協議会において、会議の進め方について協議をいたしました。が、「議論・仕組みづくり」から丸子地域まちづくり方針の7項目について「優先して検討すべき具体的取り組み」としてアンケート調査の依頼がありました。協議会の審議内容の一部かもしれないがあまりにも先走った短絡的な結果であります。会議の進め方を熟慮せず結果を追い求めたものと理解しました。本当に議論を尽くしたと感ぜられず不完全燃焼の感が強く思います。

再度、会議の進め方について検討願います。協議会の審議内容を明確にすべきです。

合併協議項目の調整状況

行財政改革

第一次上田市総合計画地域まちづくり方針の取り組み(当該アンケート調査)

地域自治センターの懸案事項

地域自治センターの業務運営について

意見具申

その他検討すべき事項

上記審議事項を決定してスケジュールを作成する

「委員からの提案」本人が都合により欠席していますので、意見を聞くべきであります。

議論・仕組みづくりが整った時点で手法・手段(アンケート調査)に入れる思います。

丸子地域まちづくり方針の7項目についても成果が求められます。予算、スケジュール等計り知れない問題を抱える場合があります。

「委員からの提案」

住民と行政の協働 住民と住民の協働 住民と議会との協働

請願・陳情書の活用

パブリックコメント

自治会内でも地域協議会に強い期待を寄せている、整然として仕組みづくりが大切である。



武石の  
四季

毎号、同じ地点からの武石の風景をお届けします。今年は、学校田から見た河川公園です。四季の移ろいをお楽しみください。

## 地域自治センターだより

編集 ▶ 上田市武石地域自治センター地域振興課 〒386-0592 長野県上田市上武石77  
TEL (0268) 85-2311代 / FAX (0268) 85-2313 / E-mail ttiiki@city.ueda.nagano.jp  
印刷 ▶ 有限会社 大和印刷

余里の花咲じいさんクラブの皆さんが丹精込めて育ててきた花桃。余里入口から山のふもとまで約4キロの沿道は白やピンクの花で埋め尽くされ、4月下旬に見頃を迎えました。4月30日には「たけし里山を歩く会」と、武石公民館主催による「花桃の郷ウォーク」が開催されるなど、今年も大勢の方が訪れ、にぎわいました。

# 余里 一里花桃の里



花桃の花言葉  
「人柄の良さ」

～花桃を愛し育ててきた余里の皆さんの人柄の良さが、「一里花桃の里」全体から伝わってきます～



3月初旬から1カ月間にわたり訪れた人たちの目を楽しませてくれた唐沢小原地区の福寿草。  
暖冬で例年より2週間程度早く開花したものの、3月の寒気と積雪の影響で見頃は例年どおりとなりました。例年より数は少なかつたものの、粒ぞろいの黄色い花がかわいらしく並んで園内を彩り、多くの人たちを迎えていました。  
3月18日には有志によるどん汁の振る舞い、25日には地元特産品売店や開発公社売店に加え、商工会、生活改善グループも出店し、訪れた人たちは素朴で温かいもてなしを堪能していました。

福寿草の花言葉  
「幸福を招く」

～訪れた大勢の人に幸せな気持ちを送ってくれました～

# 福寿草まつり



# 地域自治センターだより「武石」の発行にあたり



武石地域自治センター長  
宮下 政登

合併して1年。昨年は新市の体制に慣れていく年であったといえます。2年目の今年には、全市的な交流による一体感の醸成とともに、武石らしさを出していく年ではないかなと思います。そのキーワードは「市民協働」です。

行政でできることも限界があります。事業を取捨選択、「あれもこれも」ではなく「あれかこれか」の選択をして実施する時代になったといえます。行政と住民が知恵を出し合い、協働することにより地域づくりをしていくことが大切になっています。

唐沢の福寿草や、余里の花桃は多くの新市民の皆さんが訪れます。また、昨年の上田わつしよいには、武石からも80人以上の方が踊り連を作って参加しました。今後は武石らしさを生かした、人的、経済的交流が必要になってくると思います。武石には、魅力的なことがたくさんあります。それに気づき、それを生かした地域づくりが大切です。

さて、上田市では広報が月2回発行されていますが、全市に係る内容のため、住んでいる地域の情報をもっと知りたいという声が寄せられました。そこで今年度から、市政をより身近に感じていただき、地域の一体感を高めるために、地域の情報を多く載せた地域自治センターだより「武石」を2か月一度発行することになりました。地域の皆さんにも作成に参画していただき、より親しみやすいものにしていけたらと思います。



## 一心様のお祭り



4月15日、春の行事「一心様」のお祭りが下小寺尾の一心神社で行われました。火渡りは、井の字に積んだ薪の上で、行者が火をつけ祈禱を行い、炎が鎮まると火の中から真っ赤に焼けた剣を掘り出し、それをかざして素足で火の中を渡ります。刃渡りは、約4メートルほどの高さに組み立てられたやぐらに剣梯子をかけた素手素足で上ります。

訪れた方も、1年間の無病息災を祈り、火渡りや刃渡りに挑戦していました。



武石保育園では、4月3日に入園式が行われ、29名(男15名、女14名)が入園しました。お父さんやお母さんと入場した園児たちは緊張している様子でしたが、山崎園長先生のしまじろうが登場するお話や、先生たちの劇を見て笑顔がこぼれていました。また、武石小学校では、4月5日に入学式が行われました。期待に胸を膨らませた新一年生51名(男35名、女16名)が小さな背中にランドセルを背負い、元気に登校しました。受付では、依田窪交通安全全協会武石支部の皆さんから、「車に気をつけて元気に通ってね」と、交通安全祈願を受けた手作りの人形を新しいランドセルに取り付けてもらいました。

## ご入園・ご入学 おめでとう！



1年和組



1年敬組

### 地域協議会ってなに？

「地域の皆さんの声を市政に反映させること」地域協議会の大きな役割です。

地域協議会では地域の重要なことを審議したり、協働によるまちづくりについて調査研究をしています。

さまざまな団体の代表者や公募により選ばれた20人の委員で構成されています。

協議会開催日時や開催された会議内容、委員名簿は自治センター窓口や市ホームページで公表されています。どなたでも傍聴できますので、お出かけください。

### 今まで&これからの活動

平成18年度には6回の協議会を開催。上田市第一次総合計画「地域まちづくり方針」の答申を行うなど、毎回活発な話し合いが行われました。

4月27日には今年度第1回目の協議会が開催され、19年度武石地域の予算や19、21年度の主な計画について、各課長から説明のあと、協議が行われました。



任期 平成20年3月31日まで  
 ◎ 会長 ○ 副会長

### 武石地域協議会委員名簿

氏名	自治会名
新井 繁雄	七ヶ屋
井出 守雄	西武屋
伊藤 静子	鳥屋
伊藤 隆子	沖
内田 安博	鳥屋
柿 祐子	市之瀬
北沢 武	堀の内
北沢 直美	余里
清住 章雄	小沢
清住 隆幸	片羽
小池 文男	鳥屋
○ 小山 洋江	片羽
◎ 桜井 敏昭	小沢
桜井 美枝	上小寺
高田 忍	鳥屋
滝沢 潔	沖
橋詰 真由美	薮合
松井 幸夫	七ヶ
松代 典之	七ヶ
依田 せつ子	七ヶ

武石地域協議会ホームページ <http://www.city.ueda.nagano.jp/hp/ht/jiti/kyogikai/takesikyo.html> 問 地域振興課 Tel.85-2824

### 自治会長研修



自治会長市視察研修が4月24日・25日に行われ、武石地域の自治会長も参加しました。丸子・上田クリーンセンターを見学後、市長を交えて市政懇談会が行われました。

### 武石財産区議会

平成18年3月6日合併に伴い、武石財産区が設置され、同7月には財産区議会議員選挙が行われました。18年度には3回の議会が開かれました。8名の議員は次のとおりで、任期は4年間（平成22年7月まで）です。

- 〈議長〉 小山 栄一
- 〈副議長〉 飯田 秀範
- 〈議員〉 品川 恒重・富居 孝一  
木下 文雄・竹内 新蔵  
小山 寛・滝沢 徹男

# 武石公民館だより

### 第19回分館親善 ビーチボール大会

3月11日に武石体育館で第19回分館親善ビーチボール大会が開催され、53チームが参加しました。

大会結果は次のとおりです。

- 烏帽子の部（18歳以上の部）  
優勝 薮合A  
準優勝 上本入西部A  
第3位 しもはら（小沢根）
- 蓼科の部（30歳以上の部）  
優勝 なんこつ（堀の内）  
準優勝 市之瀬C  
第3位 鳥屋C



- 浅間の部（40歳以上の部）  
優勝 上本入西部C  
準優勝 かみはら（小沢根）  
第3位 鳥屋D
- 富士の部（50歳以上の部）  
優勝 鳥屋A  
準優勝 七ヶD  
第3位 沖A

## 武石公民館長に 下村恒彦氏就任



公民館長の川合宣勝氏が3月31日をもって退職され、後任として下村恒彦氏が就任しました。川合氏は平成16年から3年間ご尽力いただきました。

### ●下村恒彦（しもむらつねひこ）

元中学校教諭  
前城南公民館長  
住所は東内下和子  
趣味は広く浅く。いろいろなことに挑戦しています。  
よろしくお祈りします。

## 戸口から戸口までお送りする かんたん「武石スマイル号」 べんりな

平成18年2月6日にスタートしたデマンドバス「武石スマイル号」が好評です。大勢の皆様方にご利用いただき、1年3か月が経過しました。利用方法は、受付センターに居場所と行き先を伝えるだけ。とても簡単！武石地域内な



地域に  
根ざしたバスを  
目指します

▼連絡先  
武石スマイル号予約受付センター（武石村商工会内）  
TEL 41-45555  
（電話で利用登録もできます）  
※受付時間は平日の午前7時30分から午後4時30分まで  
建設課 TEL 85-2793



## はじめまして/ 上田市消防団 第八方面隊です!

昨年4月に統合し、活動してきた「上田市消防団・武石地区団」。今年4月からは「上田市消防団・第八方面隊」となりました。上田市消防団では、指揮命令系統の統一を図り、全市のつながりと協力体制を強めたいと、市内に8つの方面隊（上田4隊、丸子2隊、真田1隊、武石1隊）を組織しました。身近な分団については変更ありません。引き続き、地域の防火、防災活動にご理解とご協力をお願いします。

平成19年度、第八方面隊の主な幹部役員は次のとおりです。



平成19年 上田市消防出初式

(敬称略)	
武石第一分団長	今川 実
副分団長	林 英夫
武石第二分団長	小倉 博明
副分団長	樋沢 英幸
武石第三分団長	金子 隆博
副分団長	児玉 健
武石第四分団長	下村 昌二
副分団長	下城 億司
武石第五分団長	北沢 陽一
副分団長	堀 祐二
第八方面隊長	坂部 詠章
副バイク隊長	清住 忠広
副ラッパ隊長	鈴木 孝史
副救護長	山田 和広

## 地域自治センターだより「武石」 編集委員

# 募集します!!



- 募集人数 若干名
- 募集締切 6月8日(金)
- 応募先

地域自治センターだより「武石」は地域住民の声から誕生しました。これからも、地域自治センターと市民が協働する手づくりの「おたより」を目指します。

そこで、企画や編集にご協力いただける編集委員を募集します。

詳しくは、地域振興課までお問い合わせください。

武石地域自治センター地域振興課  
TEL 85-2824

E-mail ttiiki@city.ueda.nagano.jp

現在まで

- : 4/18 19年度第一回協議会にて佐藤センター次長から行革大綱に触れながら地域協議会とのかかわりを説明して頂きました。
  - : 市民の皆さんに対して「広報うえだ」5月16日号で特集をお知らせ
  - : 市ではこの4月の組織改正において、行政改革を進めるため、総務部の組織についても改革を行った。具体的には、男女共同参画課を市民生活部に移管し、今まで以上に行政改革に特化した組織体制とした。
- また、部局ごとに行政改革チームを作って行革に取り組む予定でいる。

これから

今後の審議内容及び日程について

本年度は 3つのテーマを定めて進める

① 「民間活力導入指針(案)」策定

集中改革プランの「民間活力の活用」を行うために、官と民の業務のあり方を検討し、効率的で効果的な行政運営を行うため指針を策定し市民合意を形成しながら民間活力を導入していく。

6月末を目途に指針の骨格部分について第一次答申を、その後、民間活力導入のリスク等総合的な検討の後、年内を目途に具体的な内容・行程等を盛り込んだ第二次答申を行う。

② 施設経営の見直し

集中改革プランの中で挙げられている 9施設について施設経営を主眼においた見直し案の答申を行う。

9施設	アクアプラザ	真田温泉ふれあい真田館
	農業バイオセンター	武石温泉うつくしの湯
	室賀温泉ささらの湯	武石番所ヶ原スキー場
	クアハウス鹿教湯	岳の湯温泉雲溪荘
	鹿教湯温泉鹿月荘	

これらの施設は、利用料金をもって施設経営が成り立つよう、運営方法、指定管理者等を見直す。市に存在する約450施設の中でも特に見直すべき施設であると位置づけ順次他の施設も見直していく予定。

③ 庁内分権のあり方の検討

## 養護老人ホーム「陽寿荘」及び特別養護老人ホーム「徳寿荘」の 移転・改築に伴う概要

特別養護老人ホーム「徳寿荘」及び養護老人ホーム「陽寿荘」の移転改築事業については、上田地域広域連合で施設を運営する事業者を社会福祉法人「大樹会」と決定し、県に補助申請を行ってきたが、本年度において、県の補助採択が決まり、事業が実施できる運びとなりました。この施設の概要は下記のとおりです。

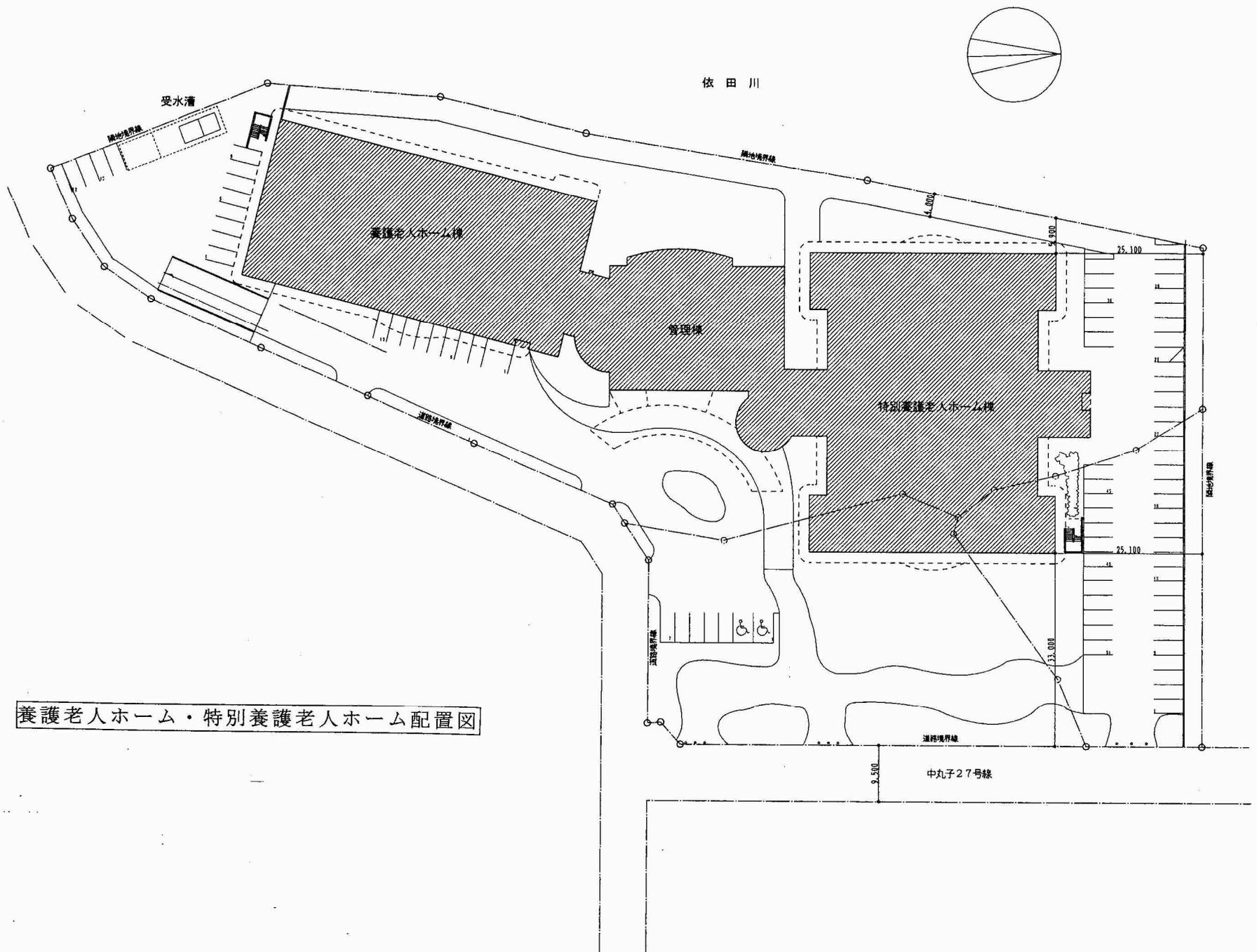
### 1 (新)養護老人ホーム・特別養護老準ホーム施設概要

項目	(新)徳寿荘(ベルポートまるこ東)	(新)陽寿荘(ベルポートまるこ西)
所在地	上田市中丸子 1897-1 他 2 筆	同 左
設置主体	社会福祉法人 大樹会	〃
経営主体	社会福祉法人 大樹会	〃
代表者	丸山大司 (大樹会理事長)	〃
開設年月日	平成 20 年秋頃予定	〃
入所定員	1 1 0 人 ショートステイ定員 1 0 人	6 6 人 ショートステイ定員 4 人
土地の状況	全体 13,623.55 m <sup>2</sup> (借地)	同 左
土地所有者	上田市	〃
建物の状況	鉄筋コンクリート造 4 階建 5,808.51 m <sup>2</sup> (全体 11,708.22 m <sup>2</sup> )	鉄筋コンクリート造 4 階建 2,910.79 m <sup>2</sup> (全体 11,708.22 m <sup>2</sup> )
居室等の状況	個室 1 2 0 室	個室 7 0 室

### 2 徳寿荘に併設されているデイサービスセンター(丸子高齢者サービスセンター)の取扱いについて

現在「徳寿荘」に併設されている市のデイサービスセンターについては、徳寿荘の移転改築に伴い、あわせて取壊しを行うこととなるため、平成 19 年 9 月議会において、条例の一部改正を行い、施設の廃止をしたい。

なお、この生きがいデイサービス事業については、全体のバランスを考慮しながら引き続き施設を替え継続していきます。また、現在、この施設を利用している方については、事前に説明を行なっていきます。



養護老人ホーム・特別養護老人ホーム配置図

# 答 申 書

上田市廃棄物処理審議会

平成18・19年度上田市廃棄物処理審議会委員名簿

	氏 名	区 分
会 長	おおぐち よしあき 大 口 義 明	上田市自治会連合会
副会長	おお い えつ こ 大 井 悦 子	上田市丸子地域消費者の会
委 員	おお た よし え 太 田 芳 枝	エコ・サポート21
委 員	わが つま やすこ 我 妻 やす子	上田市上田地域消費者の会
委 員	たき ざわ ふさ お 瀧 沢 房 男	丸子地域不法投棄監視委員会
委 員	たから べ ひろ こ 財 部 浩 子	真田町ボランティア連絡協議会
委 員	わか ばやし まさ お 若 林 政 夫	長野県行政書士会
委 員	こ だま けさみ 児 玉 けさみ	武石生活改善グループ協議会
委 員	こ やなぎ しげ ひろ 小 柳 繁 弘	広域リサイクル事業協同組合
委 員	やなぎ はら よし あき 柳 原 義 明	上田市廃棄物処理業者
委 員	こ だいら かず お 小 平 和 男	長野県資源回収事業協同組合
委 員	なが しま しん いち 長 島 伸 一	学識経験者
委 員	かみ さわ ただ と 上 沢 忠 人	学識経験者
委 員	くり た たかこ 栗 田 たか子	学識経験者
委 員	なか やま あき お 中 山 昭 雄	公募

## 目 次

はじめに . . . . . 2

### 答申事項

1 資源物の回収方法等の統一について . . . . . 3~5

2 集積所ごみの回収方法の統一について . . . . . 6~7

3 ごみ指定袋の統一について . . . . . 8~9

4 資源物回収庫、ごみ集積所の設置方法等の統一について  
. . . . . 10~11

審議経過 . . . . . 12~13

## はじめに

私たちは次世代へ、より良い環境を受け継いでいく責務があります。そのためには循環型社会形成に向け、今後さらに市民や事業者が自主的にごみ減量に取り組むことや、行政が率先してごみの減量化を推進することが必要であります。そして、この施策を実効性のあるものとするには、市民、事業者及び行政が適切な役割分担と協働のもとに進めることが大変重要であります。

上田市は平成18年3月6日に、上田市、丸子町、真田町及び武石村が合併し新上田市としてスタートしております。現在は、旧市町村ごとのルールに沿ってごみの分別、排出をお願いしておりますが、市民負担の公平化や効率的なごみの減量化及び再資源化を図るためには、新市として統一したルールを決める必要があります。

また、上田広域の3クリーンセンターは、焼却炉の耐久性や焼却能力も年々低下し、現在、新たに3クリーンセンターを統合した資源循環型施設の建設が計画されておりますが、この新施設の建設に当たっては、上田市のみならず上田広域のすべての自治体で、現状よりも大幅なごみの減量を図ることは喫緊の課題であり、市民一人ひとりが真剣に取り組まなければならない責務でもあります。

こうしたことから、山紫水明な住み良い上田市を後世に引き継いでいくためにも、今後、市民・事業者・行政の三者が一体となって、排出抑制・再使用・再生利用の施策に積極的に取り組み、ごみ減量・再資源化が図られることを期待し、答申いたします。

なお、新市において統一したごみ処理方法は、その実施状況の把握と効果の検証を行ったうえで、更なるごみの減量化を目指すために適時見直しを行っていくことが重要であります。

## 答 申 事 項

### 1 諮問事項 資源物の回収方法等の統一について

〔答 申〕

(1) 自治会等での回収を実施すること。

また、スーパーマーケット・公共施設等での拠点回収(ウイークエンドリサイクル)を補完的な位置付けで実施すること。

理由

- ・ 排出者の分別方法や排出品目の認識の確認が可能なので、資源物の品質保持や分別意識の向上を図ることができる。
- ・ 直接排出することで指定袋が不要となり、住民負担(経費)の軽減を図ることができる。
- ・ 指定袋を使わず「はだか出し」にすることにより、ごみの減量化を図ることができる。
- ・ 住民間の交流が促進され、地域の結びつきを強化できる。
- ・ ウイークエンドリサイクルを実施することにより、自治会等での回収を利用できない住民の利便性に配慮することができる。

附帯意見

- ・ 周辺環境、交通状況に応じた回収場所の選定や、毎月ではなく隔月で回収を実施する等、地域の独自性を尊重した回収とすること。
- ・ 古布の回収は、住民へリユースの方法を提示して排出抑制を推進し、有効に活用すること。
- ・ 新聞紙と広告チラシは、排出方法の簡素化と資源化技術向上をふまえて、混合して排出できるようにすること。

- ・ 資源回収場所は、各地域の既存の施設を活用することを基本とすること。  
少数意見
- ・ びん、缶は有料指定袋による排出が利便性が高いのではないかという意見があった。
- ・ 各地域の長所を生かすためには、統一して実施しないほうが良いのではないかという意見があった。

〔答 申〕

(2) 資源回収事業に協力する自治会等に対して相応の奨励金を交付すること。

理由

- ・ 資源物の回収に責任をもって取り組む姿勢が育まれ、資源ごみへの関心が高まる等、住民の分別意識の向上を図ることができる。
- ・ 奨励金を、地域の環境衛生、ごみ集積所・資源回収所の維持管理等、様々な環境衛生活動の財源として活用することができる。
- ・ 地域のコミュニティづくりを促進することができる。

附帯意見

- ・ 市の経費の持出については、将来的に縮小する方向で検討すること。
- ・ 財源のあり方に準じた適切な名称を検討すること。

少数意見

- ・ 資源物の売却金のみを還元することは、資源利益のある品目だけが回収され、有効な資源回収が実施されなくなるのではないかという意見があった。
- ・ 資源回収奨励金は、地域の重要な財源として利用されている現状を考慮する必要があるのではないかという意見があった。

〔答 申〕

(3) ごみ資源化推進リーダーを各地域へ委嘱し、活動の拡充を図ること。

理由

- ・ ごみの減量に関して、行政と地域・住民・事業者とのつながりを強化することができる。
- ・ 日々技術革新があるごみ処理についての知識を広め、住民のごみに対する意識の向上を図ることができる。
- ・ 市が実施する住民へのごみ減量化施策について、広く普及することができる。

附帯意見

- ・ ごみ資源化推進リーダーを養成するための施策の充実、ごみ資源化推進リーダーの増員、活動地域の拡充等、活躍の規模を拡大すること。
- ・ ごみ資源化推進リーダーの報酬のあり方、及び金額について検討すること。
- ・ ごみ資源化推進リーダーの活動を市民にアピールするとともに、行政や収集業者との話し合いの場を増やすこと。
- ・ 親しみやすい名称を検討すること。

少数意見

- ・ 資源回収奨励金の市の経費の持出分を減らし、その減額分をごみ資源化推進リーダー増員の財源とすべきではないかという意見があった。

## 2 諮問事項 集積所ごみの回収方法の統一について

〔答 申〕

- (1) 収集対象は、「可燃ごみ」「不燃ごみ」「プラスチック製容器包装ごみ」の3種類とすること。ただし、有害ごみ・危険ごみについては資源回収時に収集すること。

理由

- ・ 各地域により異なる集積所へのごみの排出方法を統一することにより、公平で効率のよいごみ処理方法が確立できる。
- ・ 市民がわかりやすい分別となる。
- ・ 上田地域広域連合で計画をしている資源循環型施設(リサイクルプラザ)での処理方法に沿った不燃ごみの排出方法へ統一を図ることができる。
- ・ 不燃ごみについては、家庭での分別等負担軽減を図ることができる。

附帯意見

- ・ ごみの減量の必要性を十分考慮し、市民への周知や情報提供を行うこと。
- ・ 容器包装プラスチック以外のプラスチックの確実な再資源化を実施すること。
- ・ 排出方法の詳細について、市民へ周知をすること。

少数意見

- ・ 将来的には、更なる分別が必要であるという意見があった。

〔答 申〕

(2) 原則として「可燃ごみ」は週2回、「不燃ごみ」「プラスチック製容器包装ごみ」は週1回の集積所回収とすること。

理由

- ・ 公平で効率のよいごみ処理方法が確立できる。
- ・ 画一した収集回数であるため、市民にわかりやすくなる。

〔答 申〕

(3) 一回に出せるごみ袋の制限は、それぞれの種類につき2袋までとすること。

理由

- ・ 一回に集積所に出すことができるごみ袋の数の上限を定めることにより、ごみの排出抑制を図ることができる。
- ・ 排出制限により、集積所の美観保持と管理の軽減を図ることができる。

少数意見

- ・ 一回に出せる指定袋は1袋でよいという意見があった。

### 3 諮問事項 ごみ指定袋の統一について

〔答 申〕

(1) ごみ指定袋の種類及び金額を下表のとおりとすること。

袋の種類		金額	
		サイズ	(1枚あたり)
可燃ごみ	家庭系	小	25円
		中	35円
		大	50円
	事業系	大	100円
プラスチック製容器包装ごみ		小	5円
		大	10円
不燃ごみ		小	25円
		大	50円

小の袋は、上田地域の10ℓの袋に相当(実測容量は17.5ℓ)

中の袋は、上田地域の20ℓの袋に相当(実測容量は27.7ℓ)

大の袋は、上田地域の30ℓの袋に相当(実測容量は51.0ℓ)

理由

- ・ ごみ指定袋の各サイズごとに処理単価が概ね一番安いものを採用することにより、市民の経済的負担の軽減を図ることができる。
- ・ 事業系の可燃ごみ袋については、家庭系の可燃ごみ袋の倍額にすることにより、事業者の適正処理と排出者責任を明確にすることができる。
- ・ ごみ指定袋の種類を統一することで、市民や自治会・区民及び収集業者にわかりやすい分別となる。
- ・ 各地域により異なるごみ指定袋を統一することにより、公平なごみ処理費用の負担となる。
- ・ 可燃ごみについては、家庭から最も頻度が高く排出されるため、袋のサイズを3種類とした。また、容器包装プラスチックごみと不燃ごみについては、腐敗等

がなく家庭での保存が多少の量であれば可能であることから袋のサイズを2種類とした。

#### 附帯意見

- ・ ごみの減量の必要性を十分考慮し、市民への周知や情報提供を行うこと。
- ・ 袋の形態、表示や色等、十分に検討をすること。
- ・ 容量あたりの単価は安価になっていることを市民に周知すること。

#### 少数意見

- ・ 統一のメリットとして安くすべきであるという意見があった。
- ・ ごみの減量を考え、ごみ指定袋のサイズを小さくすることという意見があった。

#### 4 諮問事項 資源物回収庫、ごみ集積所の設置方法等の統一について

〔答 申〕

- (1) 設置、維持管理は、主に自治会で実施すること。  
また、自治会で設置する資源物回収庫( 1)、ごみ集積所に対して、下表のとおり補助金を交付すること。  
( 1 資源回収を実施するための用具等の保管庫)

補助対象事業の種類	補助対象経費	補助率	補助限度額
資源物回収庫	新規設置、老朽化等による建替えに要する経費	10分の10以内	1件につき 15万円
ごみ集積所	建設経費が5万円以上の、新規設置、老朽化等による建替えに要する経費	2分の1以内	1件につき 5万円

理由

- ・ 資源物回収庫、ごみ集積所の設置費を自治会へ補助することにより、設置に対する地域間の経済的負担の公平化を図ることができる。
- ・ 資源物回収庫、ごみ集積所の適正な維持管理を図る動機付けとなる。
- ・ 自治会の環境美化への取り組みを促進することができる。
- ・ 資源物回収庫の設置費を全額補助することで、資源物の回収を促進することができる。

附帯意見

ア 資源物回収庫

- ・ 設置の申出に対しては、場所、規模等が適切となるように確認するとともに、地域の特性を考慮し柔軟に対応すること。

## イ ごみ集積所

- ・ 設置の申出に対しては、高齢者への利便性、鳥獣による散乱被害の未然防止、地域の特性等を考慮し柔軟に対応すること。
- ・ アパート等が設置する場合は、当該自治会で認めた場合に限り、補助金の交付対象とするとともに、設置後の確認を確実に実施すること。

### 少数意見

- ・ 資源物回収庫の規格を統一すべきとの意見があった。
- ・ 徒歩で排出できる場所にごみ集積所を設置することで、環境に配慮することができるのではないかと意見があった。
- ・ ごみ集積所の設置に補助をする必要はないのではないかと意見があった。

## 上田市廃棄物処理審議会 審議経過

開催日	曜日	審 議 内 容
平成 18 年 6 月 20 日	火	委嘱書交付、正副会長選出、諮問、内容説明等
7 月 26 日	水	資源物の回収方法等の統一について 統一方針の説明、質疑、意見
8 月 30 日	水	資源物の回収方法等の統一について 委員からの意見発表、意見交換、取りまとめ
9 月 27 日	水	資源物の回収方法等の統一について 仮答申案の説明、意見交換、 集積所回収ごみの排出方法等の統一について 統一方針の説明、質疑、意見
10 月 26 日	木	資源物の回収方法等の統一について 意見交換、答申案内定 集積所回収ごみの排出方法等の統一について 委員からの意見発表、意見交換、
11 月 29 日	水	集積所回収ごみの排出方法等の統一について 委員からの意見発表、意見交換 ごみ指定袋の統一について 統一方針の説明、質疑、意見
12 月 20 日	水	集積所回収ごみの排出方法等の統一について 仮答申案の説明、意見交換、答申案内定 ごみ指定袋の統一について 委員からの意見発表、意見交換
平成 19 年 1 月 24 日	水	ごみ指定袋の統一について 委員からの意見発表、意見交換
2 月 22 日	木	ごみ指定袋の統一について 仮答申案の説明、意見交換、 資源物回収庫、ごみ集積所の設置方法等の統一について 統一方針の説明、質疑、意見
3 月 28 日	水	資源物回収庫、ごみ集積所の設置方法等の統一について 委員からの意見発表、意見交換、

4月25日	水	資源物回収庫、ごみ集積所の設置方法等の統一について 仮答申案の説明、意見交換、答申案内定 最終答申案について 最終答申案の説明、質疑、意見交換、答申書の決定
5月30日	水	最終答申案について
6月14日	木	答申書の提出

# 丸子地域自治センター

## 平成19年度重点目標

- 1 市民協働によるまちづくりの推進
- 2 地域自治センターの役割の発揮
- 3 健康増進型温泉地づくりの推進
- 4 災害時の地域救援体制の検証
- 5 自ら考え行動する職員としての意識改革
- 6 生活者起点による資源循環型社会の推進

重点目標	市民協働によるまちづくりの推進	丸子地域自治センター 優先順位 1 位
目標の内容		
設定理由	<p>(現状と問題点)</p> <p>今後ますます高度化・多様化する市民ニーズや地域課題に対応して行くためには、市民、自治会、市民団体、NPO等の多様な主体と市が役割を分担し連携した「市民協働」によるまちづくりの推進が求められています。</p>	
具体的な取組方法	<p>(なにを、いつまで、どのように、どの水準まで)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 市民協働のまちづくりを推進するため、平成19年度の住民提案型事業補助件数を16件以上にします。 (平成18年度13件 平成19年度16件)</li> <li>2 住民の主體的、自主的な地域づくりを支援するための地域担当職員制度の活性化を図ります。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・担当地域の相談窓口、情報交換</li> <li>・地元要望(目論見)等の集約の支援</li> <li>・補助金等申請書類等の作成支援</li> </ul> </li> <li>3 各課1協働事業の実施 (教育委員会関係課、上下水道課、消防防災課を除く各課)</li> </ol>	

重点目標	地域自治センターの役割の発揮	丸子地域自治センター 優先順位 2 位
目標の内容		
設定理由	<p>(現状と問題点)</p> <p>地域協議会と地域のまちづくりの活動拠点としての役割、機能が十分に発揮できる仕組みを構築し、市民協働と地域内分権に基づくまちづくりを推進する必要があります。</p>	
具体的な取組方法	<p>(なにを、いつまで、どのように、どの水準まで)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 地域協議会の運営方法の検討と定着化、地域予算と地域自治センター長の権限の検討による地域内分権の推進について、地域協議会を開催し、検討します。 ・平成20年度に一部実施される地域予算による事業内容を10月までに検討します。</li> <li>2 丸子地域自治センター北側の旧丸子地域振興公社事務所施設、旧丸子町保健センターを活用したまちづくり活動拠点のあり方について、住民とともに研究します。 ・研究会発足準備(～9月) ・研究会開催(10月～2月) ・研究会まとめ(3月)</li> </ol>	

重点目標	健康増進型温泉地づくりの推進	丸子地域自治センター 優先順位 3 位
目標の内容		
設定理由 (現状と問題点) 丸子温泉郷は、国民保養温泉地として良質な温泉資源はもとより、多くの社会的資源を整備育成してきています。こうした資源をより明確に健康づくりに焦点をあわせ、国民的課題である生活習慣病対策をはじめとする健康づくりの有効性について、その科学的な数値検証と具体的な事業化が求められています。	事業化を行うことで、丸子温泉郷の位置づけとして、健康増進型温泉地を明確にし、新たな振興策を	
具体的な取組方法 (なにを、いつまで、どのように、どの水準まで) 温泉を活用した健康づくり事業の効果を検証します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>今までに取り組まれてきた、クアハウス事業の参加者から、本人の承諾を得られる人について数年分を経年的にサンプリングし、健康関連数値や参加体験を統計的に検証します。(サンプル数20)</li> <li>本年度、事業計画のある各団体の事業を横断的に健康関連数値を分析し、対象や手法による相違についてその効果を検証します。(サンプル数20)</li> <li>一般健康診査等により、一定の指導が必要と思われる者について、温泉を活用した健康づくりプログラムへの参加を積極的に勧奨し、その有効性を実証します。(サンプル数20)</li> </ul> ここで得たデータを活用し、鹿教湯温泉交流センターや健康センター「クアハウスかけゆ」で行う健康づくり事業について、政策企画局や健康福祉部と連携を図りながら、新たな施策の実施に向けて取り組みを行います。		

重点目標	災害時の地域救援体制の検証	丸子地域自治センター 優先順位 4 位
目標の内容		
設定理由 (現状と問題点) 近年全国的に地震や豪雨災害等が多発しており、災害時の救援体制の充実が求められています。特に、災害の規模が大きくなるにしたがって、救援活動における災害ボランティアの役割が重要なポイントとなっていることから、自治会及びボランティア等との情報共有化の方法や役割分担などについて、日常から確認しておく必要があります。 また、本年度の総合防災訓練は丸子地域を主会場として実施される予定であることから、訓練を通じて災害ボランティア等の活動手順の確認を行うこと、及び丸子地域独自で運用している地震防災情報システムの地震速報機能の周知を兼ねながら実地訓練に使用し、市民の迅速な避難行動に結びつける有効性を高める必要があります。	(なにを、いつまで、どのように、どの水準まで)	
具体的な取組方法 (なにを、いつまで、どのように、どの水準まで) 1 9月1日の市の総合防災訓練に合わせ、住民主体の常設災害ボランティアと市災害対策本部との連携等救援体制の検証を行います。 具体的には、ボランティアとしての役割(被災者からのニーズ調査、救援物資の仕分け・配送、被災者のメンタルケア(話し相手になる等))や活動のための組織づくりの手順、市災害対策本部との情報共有化の手順などを確認します。 2 9月1日の総合防災訓練に合わせ、地震防災情報システムの試験放送を実施し、地震が発生した際の警報音を周知するとともに、各世帯においては警報による速やかな対応の訓練及び避難場所への避難訓練を、自治会の協力を得て実施します。		

重点目標	自ら考え行動する職員としての意識改革	丸子地域自治センター 優先順位 5 位
目標の内容		
設定理由	<p>(現状と問題点)</p> <p>市民サービス及び市政に対する市民満足度の向上に向けて、「自ら考え行動し、そのために自ら成長を目指す職員」が求められています。          そのためには、異なる所属の職員同士や協働を行う市民等との多様な交流を積極的に行うことで新たな考え方や価値観を取り入れ、自己変革へと昇華させ行動に結びつける意識改革が必要です。</p>	
具体的な取組方法	<p>(なにを、いつまで、どのように、どの水準まで)</p> <p>1 職員と市民協働事業実施団体等との意見交換会を年2回以上実施し、職員の意識改革を促すとともに、様々な団体同士の新たな結びつきを演出し職員も加わることで、新たな協働につなげます。</p> <p>2 職員による意見交換会を年2回以上実施し、それぞれの所属において課題となっていることや、市民サービス向上に寄与したスモールサクセス(身近な成功例)等の事例について共有し、職員の意識改革及び現場独自のアイディアづくりにつなげます。</p> <p>3 上記項目1、2の内容及び他市町村の注目すべき取り組みなどを中心に編集したメールマガジンを年4回以上発行し、職員の意識改革と取り組みへの参考となるようにします。</p>	

重点目標	生活者起点による資源循環型社会の推進	丸子地域自治センター 優先順位 6 位
目標の内容		
設定理由	<p>(現状と問題点)</p> <p>新上田市として、各地域ごとに異なっているごみの出し方や指定袋等の不均衡をなくすため、来年4月1日からごみ処理の統一化が実施されます。          統一化にむけて、住民や事業者等の皆様への周知を図るとともに、ごみの減量や再資源化を進めるため、生活者起点による分別・排出への市民のご協力をお願いし、これを定着させる必要があります。</p>	
具体的な取組方法	<p>(なにを、いつまで、どのように、どの水準まで)</p> <p>なにを</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・資源物やごみの分別の方法が変わるため、住民説明会を自治会ごとに開催し、周知徹底を図るとともに、地域の実情に応じた、生活者起点による分別・排出を実施します。</li> </ul> <p>いつまでに</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・住民及び事業者等への説明会を本年10月以降に実施します。</li> </ul> <p>どのように</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・あらゆる機会をとらえ、多くの住民を対象とした説明会を実施します。</li> <li>・生活者起点による地域の実情に合わせた資源物の回収を行います。</li> <li>・資源物の自治会回収について理解と協力を求めます。</li> <li>・自治会回収において必要な説明会を開催します。</li> <li>・指定袋の小売店を対象に必要な説明会を開催します。</li> </ul> <p>どの水準まで</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新市の統一したごみの出し方や再資源化等の基本が住民や事業者等に定着するまで。</li> </ul>	

# 上田市都市計画マスタープランづくりに向けて

## まちづくりアンケート調査 結果概要 (丸子地域抜粋)

平成19年5月 都市建設部 都市計画課

### 1. アンケート調査の趣旨

新上田市の誕生にあたり、まちの将来像を明らかにして、その目標を実現するために「土地利用の方法」や「道路・公園などの都市施設」など、今後の上田市都市計画の基本方針を示したまちづくりの道しるべとして「上田市都市計画マスタープラン」を平成20年度を目標につくっていきます。

そこで、皆さまの意見を反映させた計画とするために、まちづくりについて、日頃皆さまが感じていることやお考え等をお伺いさせていただきました。

この結果を参考にさせて頂きながら、いつまでも住みよいく感じる新上田市をつくっていきます。



### 2. 調査の実施概要

実施期間	平成18年11月～平成18年12月
調査地域	上田市全域
調査対象	上田市在住の16歳以上の市民
抽出の方法	無作為抽出
実施方法	郵送による発送・回収
発送数	5,000通
回収率	36.2%
4地域別回収率	上田地域 33.9% 丸子地域 29.3% 真田地域 36.3% 武石地域 38.5%

### 3. 調査結果の概要

#### (1) あなたがお住まいの地域について

##### 問1 あなたのお住まいの周辺で、不満を感じる点は何ですか？

3  
つ  
ま  
で  
印

- |                      |                  |
|----------------------|------------------|
| 1 道路の整備が不十分である       | 5 店や病院、公共施設などが遠い |
| 2 バス、電車を利用するのに不便である  | 6 歴史・文化が感じられない   |
| 3 公園や緑地など憩いの場が不足している | 7 その他            |
| 4 住宅環境が悪い            | ( )              |

##### 住まい周辺の不満点の回答割合

	1	2	3	4	5	6
市全体	42.7	47.3	40.1	8.3	42.0	17.6
丸子地域	50.8	57.2	35.8	3.7	19.3	5.9
内村	83.3	55.6	27.8	5.6	55.6	16.7
丸子第1・第2	45.2	54.8	38.1	4.8	26.2	16.7
依田	44.0	76.0	36.0	0.0	60.0	12.0
長瀬・塩川	40.6	40.6	43.8	6.3	40.6	28.1

##### 市全体

###### 意見の傾向

- ・「バス、電車を利用するのに不便である」「道路の整備が不十分である」「店や病院、公共施設などが遠い」「公園や緑地など憩いの場が不足している」が4割を超えて高くなっている。
- ・「歴史・文化が感じられない」の回答は2割、「住宅環境が悪い」の回答は1割以下と低くなっている。

##### 丸子地域の状況

###### 意見の傾向

- ・丸子地域では、ともに「バス、電車を利用するのに不便である」の回答割合が過半数を超えている。また、「道路の整備が不十分である」の回答割合が過半数を超えている。

##### 地区別状況

###### 意見の傾向

- ・「バス、電車を利用するのに不便である」については、全体的に高くなっている。
- ・「道路の整備が不十分である」については、内村地区で83.3%と非常に高くなっている。
- ・「店や病院、公共施設などが遠い」については内村地区、依田地区で高くなっている。

問2 あなたのお住まいの周辺で、満足している点は何ですか？

2  
つ  
ま  
で  
印

- |                  |                  |
|------------------|------------------|
| 1 道路が十分に整備されている  | 5 店や病院、公共施設などが近い |
| 2 バス、電車が利用しやすい   | 6 歴史・文化が感じられる    |
| 3 公園や緑地など憩いの場がある | 7 その他            |
| 4 住宅環境がよい        | ( )              |

住まい周辺の満足度の回答割合

	1	2	3	4	5	6
市全体	10.1	15.5	18.0	42.0	22.6	18.0
丸子地域	10.7	13.4	17.6	46.5	28.3	8.6
内村	11.1	5.6	16.7	27.8	11.1	16.7
丸子第1・第2	4.8	9.5	21.4	50.0	35.7	2.4
依田	8.0	4.0	32.0	52.0	8.0	16.0
長瀬・塩川	9.4	28.1	3.1	46.9	18.8	12.5

市全体

意見の傾向

- ・「住宅環境がよい」という回答割合が40%を超えて特に高くなっている。
- ・次いで「店や病院、公共施設が近い」という回答割合が高くなっている。
- ・「道路が十分に整備されている」との回答は約10%と低くなっている。

丸子地域の状況

意見の傾向

- ・「住環境がよい」の回答割合が最も高くなっている。

地区別状況

意見の傾向

- ・「住宅環境がよい」の回答割合は、丸子第1・第2地区、依田地区で過半数を超えて特に高くなっている。

( 2 ) 新・上田市のまちづくりの方向性について

問3 新市の道路整備や公共交通について、何を優先したほうがよいと思いますか？

2  
つ  
ま  
で  
印

- 1 歩行者や自転車が安全に通れる道路整備
- 2 身近な生活道路の整備や補修
- 3 地域をつなぐ幹線道路の整備
- 4 通勤・通学・通院・買い物などのため、バス、電車の利便性の向上
- 5 中心市街地に行きやすいように、まちなかの道路、駐車場の整備
- 6 その他（具体的に

道路整備や公共交通の優先度の回答割合

	1	2	3	4	5
市全体	52.5	35.7	18.1	38.0	24.1
丸子地域	48.1	36.9	23.5	41.2	23.5
内村	27.8	38.9	50.0	33.3	22.2
丸子第1・第2	52.4	42.9	9.5	28.6	35.7
依田	36.0	32.0	16.0	48.0	40.0
長瀬・塩川	59.4	37.5	18.8	40.6	15.6

市全体

意見の傾向

- ・「歩行者や自転車が安全に通れる道路整備」の回答割合が過半数を超えて高くなっている。
- ・「通勤・通学・通院・買い物などのため、バス、電車の利便性の向上」「身近な生活道路の整備や補修」の回答割合が3割以上と高くなっている。

丸子地域の状況

意見の傾向

- ・「歩行者や自転車が安全に通れる道路整備」の回答割合が最も高くなっている。

地区別状況

意見の傾向

- ・「歩行者や自転車が安全に通れる道路整備」の回答割合は、丸子地域丸子第1・第2地区、長瀬・塩川地区で特に高くなっている。

#### 問4 今後、どのような公園・緑地・広場が必要だと思いますか？

2  
つ  
ま  
で  
印

- 1 身近な場所にあつて、子どもや高齢者が利用しやすい公園
- 2 野球場やテニスコートなどがある運動のできる公園
- 3 森林浴やキャンプ、ハイキングなどができる自然の豊かな公園や緑地
- 4 河岸緑地など、水とふれあうことのできる河川空間
- 5 ジョギングや散歩のできる並木道や遊歩道のある公園
- 6 休日に家族でゆったり過ごせる大きめの公園や緑地、広場
- 7 必要ない
- 8 その他（具体的に )

#### 必要な公園・緑地・広場の回答割合

	1	2	3	4	5	6	7
市全体	59.1	6.5	12.6	13.6	39.2	29.4	5.3
丸子地域	63.6	3.7	16.6	17.1	40.1	26.7	3.7
内村	50.0	5.6	16.7	5.6	50.0	22.2	16.7
丸子第1・第2	69.0	0.0	21.4	28.6	31.0	21.4	0.0
依田	68.0	4.0	20.0	16.0	48.0	32.0	0.0
長瀬・塩川	53.1	9.4	12.5	6.3	43.8	21.9	0.0

#### 市全体

##### 意見の傾向

- ・「身近な場所にあつて、子どもや高齢者が利用しやすい公園」の回答割合が、過半数を超えて最も高くなっている。
- ・「並木道や遊歩道のある公園」「大きめの公園や緑地、広場」の回答割合も、約3割であり、他に比較して高くなっている。
- ・「必要ない」という意見は5.3%と少数にとどまっており、何らかの公園・緑地・広場が求められている。

#### 丸子地域の状況

##### 意見の傾向

- ・「身近な場所にあつて、子どもや高齢者が利用しやすい公園」の回答割合が5割を超えており、高くなっている。
- ・「ジョギングや散歩のできる並木道や遊歩道のある公園」が2番目に高くなっている。

#### 地区別状況

##### 意見の傾向

- ・「ジョギングや散歩のできる並木道や遊歩道のある公園」へのニーズは内村地区で50.0%と最も高くなっている。

問5 人口減少、少子高齢化の時代といわれますが、市街地や住宅地が、農地や里山に広がっていくことについて、どのようにお考えですか？

1  
つ  
だ  
け  
印

- |   |                       |
|---|-----------------------|
| 1 | 市街地・住宅地の拡大はおさえたほうがよい  |
| 2 | 今ある市街地・住宅地を充実させたほうがよい |
| 3 | 良好な開発であれば、多少の拡大はしてもよい |
| 4 | 市街地・住宅地の拡大や開発は自由でよい   |
| 5 | わからない                 |
| 6 | その他（具体的に )            |

市街地や住宅地の拡大や開発の回答割合

	1	2	3	4	5
市全体	14.9	35.7	32.1	4.8	5.6
丸子地域	11.8	39.0	34.2	5.3	5.3
内村	5.6	38.9	38.9	5.6	5.6
丸子第1・第2	16.7	45.2	31.0	2.4	0.0
依田	4.0	36.0	40.0	8.0	12.0
長瀬・塩川	3.1	37.5	43.8	3.1	6.3

市全体

意見の傾向

- ・「今ある市街地・住宅地を充実させる」の回答割合が 35.7%と最も高くなっており、「市街地・住宅地の拡大はおさえたほうがよい」という意見（14.9%）と合わせると過半数を超えている。市街地や住宅地の拡大については慎重な意見が多く、既存の都市基盤を生かした市街地形成を望む声が最も多くなっている。
- ・「市街地・住宅地の拡大や開発は自由でよい」とする意見は 4.8%と少数であり、無秩序な市街地・住宅地の拡大に対しては、慎重な意見が多くなっている。

丸子地域の状況

意見の傾向

- ・「市街地・住宅地の拡大はおさえたほうがよい」及び「今ある市街地・住宅地を充実させたほうがよい」に「良好な開発であれば、多少の拡大はしてもよい」を含めると7割を超えている。

問5-1 あなたのお住まいの地区（自治会・区）において、市街地や住宅地が拡大することや開発されることについて、どのよう  
にお考えですか？



問5の選択肢から1つ選んで右の欄へ番号をご記入ください。

- 1 市街地・住宅地の拡大はおさえたほうがよい
- 2 今ある市街地・住宅地を充実させたほうがよい
- 3 良好な開発であれば、多少の拡大はしてもよい
- 4 市街地・住宅地の拡大や開発は自由でよい
- 5 わからない
- 6 その他（具体的に）

市街地や住宅地の拡大や開発の回答割合

	1	2	3	4	5
市全体	16.5	25.5	34.3	5.9	5.8
丸子地域	13.9	26.7	38.0	4.3	4.8
内村	0.0	16.7	44.4	5.6	5.6
丸子第1・第2	23.8	33.3	31.0	7.1	0.0
依田	12.0	16.0	60.0	0.0	12.0
長瀬・塩川	6.3	31.3	43.8	3.1	0.0

市全体

意見の傾向

- ・全市的な傾向と同様に「市街地・住宅地の拡大や開発は自由でよい」とする意見は少数である。
- ・「市街地・住宅地の拡大や開発はおさえたほうがよい」「今ある市街地・住宅地を充実させたほうがよい」「良好な開発であれば、多少の拡大はしてもよい」という意見をあわせると76.3%であり、無秩序な市街地・住宅地の拡大に対しては、慎重な意見が多くなっている。
- ・「良好な開発であれば、多少の拡大はしてもよい」という意見が最も多くなっており、全体の4分の1以上を占めている。

地域別状況

意見の傾向

- ・どの地域も無秩序な開発を望まないという声が7割以上と多くなっており、自由な開発を望んでいる人は少数になっている。

地区別状況

意見の傾向

- ・「良好な開発であれば、多少の拡大はよい」という意見は、依田地区でほぼ5割以上であり、観光資源の多い地区で他地区に比較して高くなっている。

**問6 住みやすい環境をつくるために、地域の皆さんが話し合っ、まちづくりの決まりをつくることは必要だと思いますか？**

(例として、建物の形・高さ・色などについて取り決めをしているところもあります。)

1  
つ  
だ  
け  
印

- 1 積極的に決まりをつくったほうがよい  
 2 周りの人たちが賛成であれば、決まりをつくったほうがよい  
 3 個人の権利を制限することになるので、決まりをつくらぬほうがよい  
 4 その他(具体的に )

**まちづくりのルールづくりの意向の回答割合**

	1	2	3
市全体	25.6	57.3	10.2
丸子地域	23.5	59.9	9.1
内村	33.3	55.6	11.1
丸子第1・第2	28.6	54.8	9.5
依田	16.0	72.0	4.0
長瀬・塩川	15.6	56.3	18.8

**市全体**

意見の傾向

- ・新市全体として、積極的なルールづくりを求める人は全体の4分の1以上を占めており、何らかのまちづくりのルールがあった方がよいと考えている人が、8割を超えている。

**丸子地域の状況**

意見の傾向

- ・「積極的に決まりをつくったほうがよい」「周りの人が賛成であれば、決まりをつくったほうがよい」の回答割合が8割を超えて高くなっている。

**地区別状況**

意見の傾向

- ・「周りの人たちが賛成であれば、決まりをつくったほうがよい」との回答割合は、依田地区で約7割と高くなっている。
- ・「積極的に決まりをつくったほうがよい」の回答割合は、内村地区で3割以上と高くなっている。

(3) 新・上田市の景観づくりについて

問7 あなたの大切にしたい景観はどれですか？

2 つ ま で 印	1 周囲の山々や千曲川などの自然 2 田園地帯や身近な里山などの農村風景 3 地域の伝統文化や歴史的遺産 4 身の回りの花や緑 5 市街地・住宅地などのまちなみ 6 その他(具体的に )
-----------------------	--

大切にしたい景観の回答割合

	1	2	3	4	5
市全体	58.9	42.0	48.2	20.2	12.8
丸子地域	57.8	39.0	42.2	27.8	14.4
内村	83.3	88.9	5.6	11.1	0.0
丸子第1・第2	83.3	26.2	52.4	14.3	0.0
依田	56.0	72.0	44.0	12.0	0.0
長瀬・塩川	75.0	50.0	37.5	15.6	0.0

市全体

意見の傾向

- ・「周囲の山々や千曲川などの自然」の回答割合が過半数を超えている。
- ・「田園地帯や身近な里山などの農村風景」の回答割合が4割を越えて高くなっていることを合わせると、自然の景観や農村風景など、緑豊かな景観への回答割合が高くなっている。
- ・「地域の伝統文化や歴史的遺産」も、ほぼ過半数の回答である。

丸子地域の状況

意見の傾向

- ・「周囲の山々や千曲川などの自然」の自然景観に対する回答割合が比較的高くなっている。
- ・「地域の伝統文化や歴史遺産」への回答割合が4割以上と高くなっており、地域の歴史や伝統に誇りを持っていることが伺える。

地区別状況

意見の傾向

- ・「田園地帯や身近な里山などの農村風景」の回答割合は、内村地区、依田地区で6割を超えており、比較的高くなっている。

問7-1 あなたのお住まいの地域で、特に大切にしたい景観のある場所を教えてください。  
 (2箇所以内で具体的にご記入ください。)

大切にしたい景観の回答の傾向

	順位	大切にしたい景観	回答数
丸子地域	1	依田川 (依田川、依田川河川敷など)	17
	2	丸子城跡公園 (丸子城跡公園、丸子城山公園など)	10
	3	信州国際音楽村 (信州国際音楽村、音楽村周辺など)	9

問8 あなたのお住まいの周辺で、特に景観をそこねていると思うものはどれですか？

2 つ ま で 印	1	田園や自然風景の中の開発	5	道路案内などの標識
	2	統一感のない形や色彩のまちなみ	6	電柱や電線
	3	高層の建物	7	その他
	4	看板・ビラ・ポスター	( )	

住まい周辺の景観阻害要因の回答割合

	1	2	3	4	5	6
市全体	21.2	16.4	8.8	26.5	6.2	36.2
丸子地域	18.7	19.3	3.2	31.6	7.0	36.9
内村	11.1	11.1	0.0	27.8	11.1	38.9
丸子第1・第2	19.0	23.8	0.0	21.4	4.8	33.3
依田	24.0	16.0	8.0	32.0	12.0	36.0
長瀬・塩川	18.8	15.6	3.1	28.1	9.4	37.5

市全体

意見の傾向

・「電柱や電線」の回答割合が36.2%と最も多く、次いで「看板・ビラ・ポスター」が26.5%と高くなっている。

丸子地域の状況

意見の傾向

・「電柱や電線」の回答割合が約4割と最も高くなっている。

問9 地域の景観を守ったり、良くするために、あなたができると思うことは何ですか？

2  
つ  
ま  
で  
印

- 1 自宅の庭先に花や緑を増やす
- 2 地域で行う清掃活動や花壇づくりなどに参加する
- 3 自分の家の色やデザインを周囲の景観に調和するようにする
- 4 地域で話し合っ景観づくりの決まりをつくり、活動を行う
- 5 地域の景観や歴史について学習する
- 6 その他(具体的に )

景観への取組みの回答割合

	1	2	3	4	5
市全体	51.7	49.3	10.5	25.5	25.4
丸子地域	54.0	57.2	10.7	31.0	19.3
内村	50.0	66.7	0.0	38.9	22.2
丸子第1・第2	57.1	59.5	4.8	33.3	9.5
依田	64.0	48.0	20.0	20.0	12.0
長瀬・塩川	46.9	59.4	12.5	21.9	31.3

市全体

意見の傾向

- ・「自宅の庭先に花や緑を増やす」の回答割合が過半数を超えて最も高くなっており、「地域の清掃活動や花壇づくりに参加する」と合わせて自主的な緑化活動等への参加意欲が高くなっている。
- ・「地域で話し合っ景観づくりの決まりをつくり、活動を行う」「地域の景観や歴史について学習する」の回答割合も25%以上で高くなっている。

丸子地域の状況

意見の傾向

- ・「地域で行う清掃活動や花壇づくりに参加する」の回答割合が高くなっている。

地区別状況

意見の傾向

- ・「地域で行う清掃活動や花壇づくりに参加する」の回答割合は内村地区で60.0%を超えて多くなっている。
- ・「地域で話し合っ景観づくりの決まりをつくり、活動を行う」の回答割合は内村地区で38.9%と最も多くなっている。

問 10 地域の景観を守ったり良くするために行政に取り組んで欲しいことは何ですか？

2  
つ  
ま  
で  
印

- 1 景観に配慮した公共施設を建設する
- 2 市民の景観づくり活動を支援する
- 3 広報紙やインターネットなどを使って、市民に景観について知ってもらう
- 4 景観をそこなう建物や広告物を指導、規制する
- 5 景観のよい地域や歴史的な建物などを守っていく
- 6 その他（具体的に )

景観行政への希望の回答割合

	1	2	3	4	5
市全体	24.9	30.8	11.2	46.5	57.3
丸子地域	21.9	42.8	9.6	41.7	57.2
内村	27.8	61.1	0.0	27.8	66.7
丸子第1・第2	21.4	47.6	2.4	40.5	50.0
依田	28.0	36.0	16.0	48.0	56.0
長瀬・塩川	12.5	40.6	12.5	31.3	68.8

市全体

意見の傾向

- ・「景観のよい地域や歴史的な建物を守っていく」の回答割合が過半数を超えて高くなっている。
- ・次いで「景観をそこなう建物や広告物を指導、規制する」の回答割合が4割を超えて高くなっている。

地域別状況

意見の傾向

- ・「景観のよい地域や歴史的な建物などを守っていく」の回答割合は50%を超えて高くなっている。

地区別状況

意見の傾向

- ・「景観のよい地域や歴史的な建物などを守っていく」の回答は内村地区、長瀬・塩川地区で60.0%を超えて高くなっている。

(4) 自由意見

新市の中で、あなたが好きな所、または大切にしていきたい所はどこですか？

(交通、公園、住環境、自然、まちなみに関連してお願いします。)

よろしければ、理由をお書きください。

丸子地域回答の傾向

順位	大切にしたい景観	意見数	記入者数
1	<b>自然</b> (自然、山や川、丸子地域の自然など) <u>主な理由</u> ・美しい故郷は老人にとっても子供にとっても宝物 ・街中や都市には感じられない自然と一体になれる ・開発されず、手入れの行き届いた里山の風景を残したい	28	117
2	<b>上田城跡公園</b> (上田公園、上田城跡公園など) <u>主な理由</u> ・街中でも自然を感じられる ・桜がきれいだから ・	17	
3	<b>上田城</b> (上田城、上田城跡など) <u>主な理由</u> ・歴史を後世に伝えたい	15	

まちづくりについて、ご自由にご意見をお書きください。

(土地利用、道路・公共交通・公園・下水道・住宅の整備、住環境の保全、景観づくりなどについて、ご意見やご要望、アドバイスなどがあれば、ご自由にお書きください。)

	回答の多かった意見	意見数	記入者数
丸子地域	道路整備・交通問題等について	34	101
	公園、運動施設等について	11	
	公共施設等について	12	
	自然環境等について	11	
	下水道等について	8	